

(様式2)

2019年度 教育活動活性化提案事業 実施結果報告書
(中間報告 ・ 最終報告)

令和2年3月27日

福岡女子大学学長 殿

申請者

所属名 食・健康学科

職名 教授

氏名 新開章司



事業名 (テーマ)	専門科目における体験的学習推進のための外部組織との連携モデル構築に向けて		
事業実施者及び 事業分担者	新開章司	大学院生及び 学外協力者等	JA筑前あさくら農業協同組合 JA筑前あさくら 農業観光部会 JA福岡中央会
活動内容及び成果(必要に応じ資料、写真等を添付すること) ※この欄の記載は、大学ホームページ等にそのまま掲載する予定です。 (活動内容) 1. 実施の背景 これまで、本学とJA筑前あさくら農業協同組合(以下、JA筑前あさくら)は、非公式な体験学習や任意の農業体験を通して交流を深めてきた。それを土台として、2017年度と2018年度に「地域ブランド論」(3年次専門科目)において、梨のブランド化を題材として授業の一部に取り込むことを試行してきた。また、2018年度は、被災地支援の一環として授業終了後も学生による梨の販売にも取り組んだ。そのような実績をもとに、2018年度に、本学とJA筑前あさくらの間で包括連携協定を締結した。 2. 事業の目的 「地域ブランド論」において、JA筑前あさくらと連携し、受講生に地域ブランドの現場における実体験を経験する機会を与え、学生の主体的かつ深い学びを促進し、その学びの成果をJA筑前あさくらに還元することにより、当該JAのブランド強化に寄与し、もって被災地の復興に貢献することを目指した。 あわせて、その実施を通して、正課における学外主体との連携による、体験的学習の実施モデルを提示する。体験的学習は、とりわけ専門科目において優良なアイデアや企画があっても、資金の調達のために断念することも多いと思われる。双方win-winの関係を前提とした、応分の費用負担(マッチングファンド)によって実施することにより、予算の制約がある中での持続的な体験学習モデルの提示を試みる。 3. 事業の内容 「地域ブランド論」の講義を通して、マーケティングやブランディングの基礎を学び、また、地域が抱える課題などを整理した。さらに、秋月農業観光部会の方々にお越しいただき、より具体的な梨生産に関する課題の提示(観光農園の集客増加策、梨の新品種のネーミングとプロモーション戦略、等)を受け、それを受けて、グループごとに課題を設定し、調査研究を行い、解決策と提案をまとめた。 6月:現地訪問(袋掛作業)と課題の提示。授業内外で課題について検討を深めた。 7月:梨農家の方々に大学にお越しいただき、ヒヤリングとディスカッションを行った。さらに検討を進め、解決策と戦略案にまとめた。 9月:現地訪問(収穫作業)とプレゼンテーション(戦略提案) 2月:福岡県の「地産地消県民大会」において、参加学生が成果を発表 (成果) 今回のプログラムを通して、学生にとっては多くの学びがあり、授業評価等でも、良好なフィードバックが得られている。また、受け入れ主体からも、好評をいただき、次年度も継続の予定である。主な成果は以下である。 ・実際の農作業体験や農家の方々との交流を通して、受講生が課題を主体的かつ具体的に受け止め、深い学びが得られた。 ・受け入れ主体から実践的な課題の提示を受け、その検討結果を受入主体に還元(ブランド戦略の提案)することにより、受け入れ主体との実践的な協働ができた。それにより、今後の体験的学習のモデルのひとつを提示できた。 ・被災地である朝倉地域の人々と交流し、またブランド化や販売を支援することにより、被災地の復興に関心を深めた。 ・福岡県の「地産地消県民大会」で参加学生が成果を発表し、学外の多くの関係者、県民と共有できた。			



事業費の交付決定額(円)

236000 円

事業費の決算額(円)(領収書等を添付すること)

174640 円

事業費の決算額の内訳(円)

費目	品名、仕様など	金額
消耗品費		0
印刷製本費		0
旅費交通費	貸し切りバス代金(2回) 福岡女子大学⇄JA筑前あさくら	174,640
通信運搬費		0
備品費		0
その他		0
合 計		174,640

※費目等は適宜追加・削除すること

支出予算執行状況照会(予算科目)執行明細 ※抜粋

2020/3/27 12:20

申請日/伝票日	予算階層1略	予算階層4	予算階層1	中期大区	予算科目	摘要	金額	相手先名	支払日	勘定科目	勘定科目	執行状況
2019/9/30	国際文理学部	食・健康学	新開 章	司	教育研究	教育企画	86,570	西鉄旅行	2019/10/31	201007	教)賃借料	確定
2019/6/26	国際文理学部	食・健康学	新開 章	司	教育研究	教育企画	88,070	西鉄旅行	2019/7/31	201007	教)賃借料	確定

174,640

梨の袋掛け作業(6月22日)



梨の生産・流通の現状に関する講義およびテーマの提示(6月22日)



福岡女子大学での講義および意見交換(7月12日)



研究成果プレゼンと選果場見学(9月28日)



令和元年度 食育・地産地消県民大会

人生を変える 自炊・農業体験のススメ

参加費
無料

令和2年2月10日(月)
13:30~16:30(開場13:00)

<会場> 都久志会館 4F
(福岡市中央区天神4-8-10)

<定員> 170名

参加者
プレゼント付!



基調講演

「だから自炊なんだ！
子どもが作る『弁当の日』、九大『自炊塾』からのメッセージ」

ひらまつ みちかず

比良松 道一氏 九州大学 持続可能な社会のための決断科学センター 准教授



パネルディスカッション

「若い力が食や農業を変える!!」
大学生アグリネットワーク

健康
チェック
ブース

自炊
お助け
グッズ
ブース

八女茶・
おだしの
ふるまい
ブース

応募方法

専用の申し込みフォームもしくはハガキ・FAX・メールに下記の必要事項をご記入頂き事務局までお送りください。
※応募多数により入場ができない場合のみ事務局よりご連絡します。

必要事項:①代表者お名前 ②年齢 ③電話番号 ④参加人数

申し込みフォーム: <https://chachacha.asia/form/shoku/>
メール: shoku@frau-net.com

事務局

食育・地産地消県民大会事務局(株式会社フラウ)
〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1-3-14 小榎ビル3F
TEL: 092-751-8830 FAX: 092-751-8831



↑申し込みは
こちらからも可能です

主催:食育・地産地消ふくおか県民会議、JA福岡中央会
協賛:全国農業協同組合連合会 福岡県本部

スケジュール

- 13:00～ 開場
- 13:30～13:40 オープニング
- 13:40～14:00 ふくおか農林漁業応援団体表彰式
ふくおか農林漁業応援団体優良事例発表
- 14:05～15:05 基調講演
「だから自炊なんだ！
子どもが作る『弁当の日』、
九大『自炊塾』からのメッセージ」
比良松 道一氏 九州大学
持続可能な社会のための決断科学センター准教授
- 15:05～15:15 休憩
- 15:15～16:20 パネルディスカッション
「若い力が食や農業を変える!!」
大学生アグリネットワーク
コーディネーター：新開 章司氏 福岡女子大学 教授
- 16:20～16:30 閉会あいさつ



基調講演講師



ひらまつ みちがす 比良松 道一氏

九州大学
持続可能な社会のための決断科学センター 准教授

1965年福岡市生まれ。農業博士。福岡県農業総合試験場などを経て現職へ。研究室の女子学生を通じて知った「弁当の日」に感化され、食育に目覚める。現在、大学生から小学生、一般市民、子育て支援団体を対象とした食・環境・子育てに関する講義・講演・ワークショップを展開中。九州大学で2013年から開講している「自炊塾」は、3か月半で大学生の人生を変えるほどの影響力を持つ教育として注目される。

パネルディスカッションコーディネーター



しんかい しょうじ 新開 章司氏

福岡女子大学 国際文理学部 食・健康学科
教授 (食料経済学)

世界の「農産物直売」の比較研究や企業的な農業経営の調査を行っている。九州大学大学院農学研究助教などを経て、2016年4月より現職。福岡市生まれ。

パネルディスカッション



パネルディスカッションでは、大学生アグリスクールや大学生アグリネットワークで1年間取り組んだ活動や日本農業新聞の大学生記者となり生産者取材した経験を通じて学んだことなどを大学生が報告します。
参加大学：中村学園大学短期大学部・福岡女子大学・九州大学・日本赤十字九州国際看護大学

大学生アグリネットワークとは

将来、社会人となる大学生を対象に、農業体験や生産者との交流を通じて「気づく・考える・発信する」体験型の講座などの活動を行っています。活動を通して、食と農業のつながりについて理解を深めています。

同時開催ブース

健康
チェック
ブース

自炊
お助け
グッズ
ブース

八女茶・
おだしの
ふるまい
ブース

大会終了後プレゼント!!

- めし丸元気つくし
パックごはん(200g)
- あまおう
プチパック(50g程度)
- 煎茶(10g)



※写真はイメージです。
※「あまおうプチパック」は、サイズにより1粒～3粒となる場合があります。

会場：都久志会館 (福岡市中央区天神4-8-10)



※会場には駐車場はありません。公共の交通機関を御利用ください。

福 いただきます!
福岡のおいしい幸せ

これは、食育・地産地消県民運動のロゴマークとスローガンです。県民みんなで福岡県の豊かな農林水産物をおいしく食べ、食と食を支える農林水産業の重要性について考えましょう。